

いしかり砂丘の風資料館紀要

第11巻

BULLETIN OF THE ISHIKARI LOCAL MUSEUM

Volume 11

September, 2021



口絵1. 石狩湾沿岸で2020年に見られたミンククジラのスランディング.

A, B : 1月19日 古潭. C : 1月27日 毘沙別. D : 2月29日 嶺泊. E : 11月24日 銭函.

口絵1. 石狩湾沿岸で2020年に見られた ミンククジラのストランディング Stranding records of Minke whale along the coast of Ishikari Bay, Hokkaido, Japan in 2020

2020年1月19日、石狩湾沿岸（北海道石狩市厚田区古潭）でミンククジラ *Balaenoptera acutorostrata* のストランディング（死亡・漂着）が発見された（A, B）。

ミンククジラはナガスクジラ類の中で最も小さく、成獣で体長約7～8m。胸鰭に白色の帯が見られるのが特徴。北半球の熱帯から極域まで広範囲に分布する。

北海道周辺海域では、ミンククジラは生体・漂着とも、太平洋側・オホーツク海側で多く見られる。日本海側で確認されることは多くなく、石狩市（旧厚田村・旧浜益村を含む）沿岸の記録を整理したところ、2005年以降だが、漂着2例、混獲1例のみであった（志賀, 2019）。本件は3例目の漂着記録となる（ただしこの他にも人間に発見されない事例や、発見されても記録・報告されなかった事例も多数あると思われる）。

北海道周辺海域では、ミンククジラは生体・漂着とも、太平洋側・オホーツク海側で多く見られる。日本海側で確認されることは多くなく、石狩市（旧厚田村・旧浜益村を含む）沿岸の記録を整理したところ、2005年以降だが、漂着2例、混獲1例のみであった（志賀, 2019）。本件は3例目の漂着記録となる（ただしこの他にも人間に発見されない事例や、発見されても記録・報告されなかった事例も多数あると思われる）。

この個体は体長6～8m（目測）、オス。浅瀬の暗礁に座礁した状態だったため近寄れず、詳細な計測値や試料は得られなかった。後日、消失したことが確認された。ストランディングネットワーク北海道（SNH）の整理番号：SNH20002（SNH, web site）。

さらに本件の後にも、2020年1月27日に石狩市浜益区毘沙別（C, SNH20004）、2020年2月29日に厚田区嶺泊（D, SNH20009）、2020年11月24日に小樽市銭函（十線浜）（E, SNH20089）で、ミンククジラのストランディング（いずれも死亡漂着）が確認されている（嶺泊の事例は、体長や位置などから、古潭の事例と同一個体の可能性がある）。石狩湾沿岸で1年間に3もしくは4個体のミンククジラのストランディングが確認されたことになり、極めて異例である。

（志賀 健司）

引用文献

志賀健司, 2019. 石狩湾東部沿岸における海生哺乳類ストランディングの記録. いしかり砂丘の風資料館紀要, 9 : 25-34.

ストランディングネットワーク北海道, web site. <https://kujira110.com> (2020年12月閲覧)





口絵2. 石狩だけどチバニアン.

北海道石狩丘陵南部のチバニアン基底付近と思われる露頭。A：当別町材木沢の砂利採取現場（2020年6月4日（現場管理者の許可を得て立入・撮影））。B，C：石狩市八幡町高岡の沢（2020年6月19日）。

口絵2. 石狩だけどチバニアン Chibanian in Ishikari

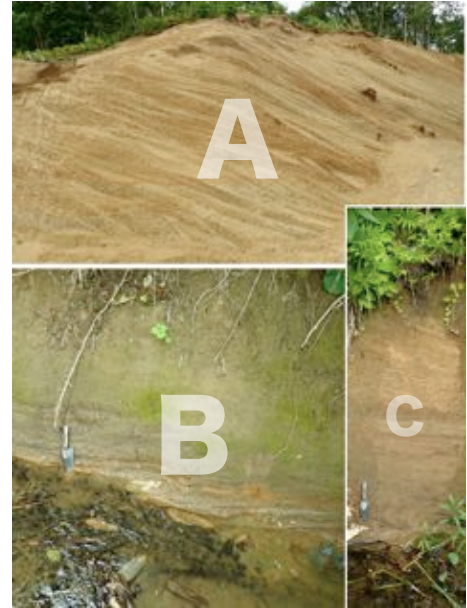
2020年1月、千葉県市原市の露頭「千葉セクション」が、新生界新第三系下部更新統一中部更新統境界を定義するGSSP (Global Boundary Stratotype Section and Point: 国際境界模式層断面とポイント) として、国際地質学連合 (IUGS) に認定された (Suganuma *et al.*, in press). それに伴い、中期更新世/中部更新統の時代名/地層名として、「Chibanian」(チバニアン: 千葉時代) が誕生した。日本の地名が国際的な地質時代名になるのは、初めてのことである。

チバニアンの基底は、千葉セクションにおける松山ーブルン地磁気逆転境界の直下に認められる、白尾火山灰層 (77万4000年前) で定義された。そこから上部更新統の基底とされている12万9000年前までを示す地層が「チバニアン階」、相当する時代が「チバニアン期」と呼ばれることになった。

チバニアン階は、当然、千葉にしかないわけではない。世界中に分布し、北海道では石狩低地帯周辺部にも広範囲に見られる。北海道石狩市周辺では、石狩丘陵南部に分布する材木沢層の上部 (もしくは直上の伊達山層の基底) が中部更新統の基底とされており (赤松, 1984; 岡, 1992), すなわちチバニアン基底ということになる。材木沢層は当別町の材木沢川流域が模式地で (垣見, 1958), 現在稼働中の砂利採取現場に大規模かつ新鮮な露頭を見ることができる (A)。斜交葉理の見られる黄～赤褐色の中粒～粗粒砂層と、チャートや安山岩などを主体とした礫層からなる。

石狩市内では材木沢層の上部は確認できないが、下部と思われる露頭が八幡町高岡地区の沢に見ることができる (B, C)。極めて小規模な露頭だが、当別町の大露頭を思わせるような黄～赤褐色の粗粒砂層や礫が確認できる。石狩でも、“世界基準チバニアン”を感じることもできる露頭である。

(志賀 健司)



引用文献

- 赤松守雄, 1984. 北海道石狩丘陵から産出する“いわゆる獅子内動物群”について. 北海道開拓記念館研究年報, 12: 1-33.
- 垣見俊弘, 1958. 5万分の1地質図幅「石狩」および同説明書. 地質調査所.
- 岡孝雄, 1992. 石狩丘陵の上部新生界. 地下資源調査所報告, 63: 109-135.
- Suganuma, Y., Okada, M., Head, M., Kameo, K., Haneda, Y., Hayashi, H., Irizuki, T., Itaki, T., Izumi, K., Kubota, Y., Nakazato, H., Nishida, N., Okuda, M., Satoguchi, Y., Simon, Q., Takeshita, Y., in press. Formal ratification of the Global Boundary Stratotype Section and Point (GSSP) for the Chibanian Stage and Middle Pleistocene Subseries of the Quaternary System: the Chiba section, Japan. *Episodes*.

いしかり砂丘の風資料館 紀要

第11巻

目次

報告

- 石橋 孝夫：石狩川河口左岸で採取された穴のある漂着コハク … 1
- 志賀 健司：石狩湾沿岸のプラスチック製漂着物に刻まれたバイトマーク … 9
- 内藤 華子・寒河江 洋一郎・高橋 恵美：石狩川河口左岸における2009年から
2020年までの侵食状況について … 15
- 更科 美帆・高橋 恵美・秦（鈴木） あいり・吉田 剛司：石狩浜における国内外来種
アズマヒキガエル (*Bufo japonicus formosus*) の防除活動に関する報告 … 25
- 荒山 千恵：アイヌ語に由来する石狩市内の植物関係地名について … 37

資料

- 坂本 恵衣：石狩市樽川神社創立関係文書について … 45
- 荒山 千恵：石狩川河口地域で採集された植物標本について … 51

口絵

- 石狩湾沿岸で2020年に見られたミンククジラのストランディング … i
- 石狩だけどチバニアン … iii

